

4月18日(水)

平成24年(2012年) 第6004号

電波タイムズ

The Dempa Times

APPLIC 最新の地域情報プラットフォーム標準仕様を公開 改正住基法の施行にあわせ標準仕様の一部を改定

一般財団法人全国地域情報化推進協会（APPLIC）はこのほど、平成24年7月に施行が予定されている「住民基本台帳の一部を改正する法律」（改正住基法）に対応した、最新の地域情報プラットフォーム標準仕様（APPLIC-00

02-2012）を公開した。これに伴い、4月2日から新しい標準仕様（標準仕様）に準拠した製品の登録申請の受付を開始した。

今回の法改正により、地域情報プラットフォーム標準仕様における住民基本台帳ユニット等に係るインターフェース仕様、データ一覧、インターフェース一覧等が改定されたほか、外国人登録ユニットが廃止された。APPLICでは、かねてから「地域情報プラットフォームフォーム標準仕様」を公表し、その普及促進に取り組んでいる。ま

た、地域情報プラットフォーム標準仕様に準拠する製品数も、この一年で35社272ユニット製品から45社429ユニット製品へと大幅に増加している状況にある。今回の改正内容の検討は、総務省のアドバイスを受けながら検討を進めてきており、当該法律の施行にあわせ、対応した標準仕様を公開するものである。

住民基本台帳ユニットには現在30のユニット製品が準拠登録されており、今回の法改正を受け、多くは改正住基法に対応した新バージョンとして準拠登録される見込みである。今後は、新しい標準仕様（標準仕様）に準拠する製品の登録を行うとともに、今年度開催される相互接続確認イベントにおいて、改正住基法に対応した大規模な準拠製品同士の相互接続性確認を実施する予定である。